



ランナーたちを魅了する 隅田川リバーサイド

今、ランナーたちに大人気のスポットがある。隅田川リバーサイドだ。皇居周辺よりも道幅が広いうえ、水際を走れるので爽快感が違うという。潤いのあるこの水辺、実は洪水対策と表裏一体のものだった。



東京都公園協会が発行した
「隅田川リバーラン&ウォーク
マップ」

隅田川リバーサイドを走るランナー。川岸にシャワーやロッカーを備えたカフェがオープンするなど、利用しやすい環境が整いつつある

**貴重なオープンスペースで
ラン&ウォークを**

両岸に沿って遊歩道や緑地が整備されている隅田川テラス。さわやかな川風に吹かれながらランニングやウォーキングに汗を流す人たちの姿が目立つ。舗道の幅が広く、自転車は通行禁止なので、安全で快適に走り、歩けるのがうれしい。

公益財団法人東京都公園協会は、2015年に『隅田川リバーラン&ウォークマップ』を発行した。信号に中断されない約5kmのおすすぬめ4コースをガイド。冊子のQRコードを読み取ればスマートフォンにもマップをダウンロードできる。

「川べりは都市の貴重なオープンスペース。ラン&ウォークで健康的に隅田川テラスを使い、もっと多くの方々に水辺の魅力を感じていただきたい」(東京都公園協会水辺事業部・渡辺千秋さん)との狙いで制作したものだ。

マップは都内の公園や沿岸区の観光案内などで配付。新富町のホテルが、マップとタオルと水の特典に付けた宿泊プランを提供して好評を博し、他の宿泊施設にも波及。近隣住民も観光客も入り交



東京都建設局河川部低地対策専門課長の富澤房雄さん(中)、計画課の榮麻希さん(左)、計画課課長代理の遠藤英樹さん(右)



かつての「カミソリ堤防」が徐々に親水スペースとなりつつある(提供:東京都建設局)



公益財団法人 東京都公園協会 水辺事業部の渡邊陽一さん(右)と渡辺千秋さん(左)



地域住民「花守さん」が手入れをする花壇。町会に関係したグループが多いという(提供:東京都公園協会)

じつて、隅田川テラスはランナーとウォーカーの新スポットになりつつある。

防災を目的とする「根固め」がテラスに

隅田川テラスの整備は、1985年(昭和60)に東京都が着手した「スーパー堤防」整備事業の一環として進められてきた。旧来のコンクリート直立型のいわゆる「カミソリ堤防」は、高潮による水害からまちと人々の暮らしを守る一方で人と川を隔ててしまう。対して盛土による幅の広い堤防用地と緩やかな勾配をもつスーパー堤防は安全性と耐震性に優れるうえ、潤いのある水辺を復活させ、人を招き寄せる。

都は隅田川の背後の市街地再開発や建て替え事業などのタイムミンクに合わせてスーパー堤防も同時に整備。現在、両岸総延長46kmのうち約3割がスーパー堤防化されている。「スーパー堤防には盛土による荷重を支えるための根固めが必要で、それが堤防の川側のスペースつまり『テラス』にあたります。こちらの整備を先行して進めてきました(東京都建設局河川部低地対策専門課長・富澤房雄さん)。

スーパー堤防に不可欠の機能を提供する隅田川テラスが、ひと足お先に水辺の潤いを取り戻しているわけだ。

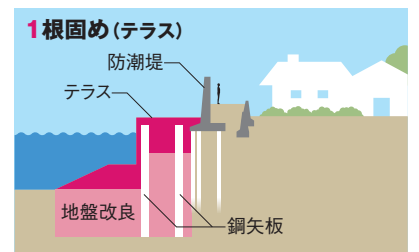
神田川、日本橋川との合流部や水門など、隅田川テラスが分断されている箇所がある。「水門の耐震工事などと合わせて、スロープや橋などを設置して、連続してラン&ウォークできるように整備している」と富澤さんは話す。

また、隅田川テラスの夜間照明も整備中。夏場は気温の下がる夜間にランニングやウォーキングしたい人は多いし、防災目的もある。「壁を照らしたりするなど、橋梁のライトアップをテラスが引き立てるための統一したデザイン(河川部計画課・榮麻希さん)で整備する」という。

花壇を世話する地域の「花守さん」

隅田川テラスを歩くと目につくのは季節の花々。水辺に憩う人たちの目を楽しませる花壇は「花守さん」と呼ばれるボランティアの地域住民が世話をしている。

花苗の多くは東京都公園協会が提供し、花守さんのグループが春と秋に花を植え、テラスの散水栓の鍵を預かり、用意したホースを



使って水やりをする。川辺の花壇は日陰がなく照り返しも強いので、盛夏になると週に2回以上の水やりが必要だ。

「墨田、台東、中央、江東の4区で20団体ほどあり、400名を超える花守さんが活動されています。皆さんとても熱心です。隅田川の特長は地域の方々がテラス管理の一部を担っていること(東京都公園協会水辺事業部調整課水辺公益係長・渡邊陽一さん)」

親水環境のハードとソフトを整備するのは行政の役割だが、ふだん気持ちよく使えるように気を配るのは、川を大切にし、水辺の草花を愛でる近隣の人たち。隅田川テラスを快適にラン&ウォークできる裏には、地域住民によるこうした地道な公益活動があることを忘れてはならないだろう。

(2017年8月23日取材)

「根固め」のしくみ

- 1 スーパー堤防化に先立ち、川側の地盤を改良するために鋼矢板(こうやいた)を打つなど補強を行なう。これがテラスとなる
- 2 再開発や建て替えに合わせてスーパー堤防を築き、カミソリ堤防は撤去する(東京都建設局の資料をもとに編集部作成)